

ときめき人

Tokimeki bito



市消防団初の 学生団員 大好きなこのまちで みんなの命を守りたい

登米町・渋江

菊地 栞さん

きくち しおり
1999年生まれ 血液型/B型

平成30年度市総合防災訓練で、包帯の巻き方などを学ぶ応急救護訓練の補助員を務める菊地さん。消防団に興味のある人は、消防本部警防課(消防団係)まで。☎0220(22)1901



「高校を卒業して、友達が進学や就職で市外へ移りました。その友達が戻って来たいと思ってもらえるように、登米市をもっと住みやすいまちにするために、自分に何かできることがしたいと思い入団しました」と入団の動機を話す。

高校を卒業した昨年3月、消防団員の兄に誘われたのがきっかけで、市消防団登米支団に同年4月に入団した。現在、石巻市の看護専門学校に通う菊地さんは、市消防団では初となる学生団員。現在は、防災訓練の補助員や街頭パトロール、どんと祭の活動などに参加している。「周りの人たちからは、大変じゃないかと心配されますが、自分のできる範囲で活動できるので、大変だと感じたことは一度もありません。女性分団にも所属しているの

で、いろいろな人と知り合うことができて楽しいです。もっと若い団員が増えるようにしていきたいですね」と笑顔で話す。

看護師だった母に憧れ、命を守る仕事がしたいと看護師の道を志した。「対応力と実践力のある看護師を目指しています。消防団の活動は、看護学校では学ぶことができない現場での救護活動など、学ぶべきことがたくさんあります。学校で学んだことと一緒に、自分の技術として習得していきたいです」と目標を語る。

「生まれ育った登米市のことが大好きなので、みんなの命を守れるようになりたいです」。看護師になるための勉強をしながら、まちの安全を願い、今日も消防団活動に励んでいる。

編集後記

▼今号の特集のテーマは子育て。取材をしていく中で、悩みを抱えていない親はいないとあらためて気付かされました。取材を通し、実際に現場で見て、聞いて、感じたものを、できる限り皆さんに伝えられるよう、意味のある広報紙を目指して、作っていききたいと思えます。(三浦)

▼息子が小学校を卒業し、中学生に。これからは、心も体も日に日に大人へと成長していく時期です。子どもの成長はうれしいですが、大人になっていくことに少し寂しさも感じます。私は広報2年生。これまで以上に市の「ひと」「もの」「こと」を魅力的に伝えられるように頑張ります。(高橋)

▼今号は100歳を迎えた3人を取材しました。皆さんお元気で、自分のことはほぼ何でもできるそうです。取材をしていると、家族から愛されていること、また、家族に対する感謝が伝わってきて、この環境こそ長寿の秘訣なのかもしれないと感じました。(小野寺)

元号の読み替えについて

改元期日の本年5月1日以後の表記は、新元号に読み替えていただきますようお願いいたします。



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

